

スギラン

Lycopodium cryptomerinum Maxim.

ヒカゲノカズラ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅰ類

国カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

生育地が稀で地域的に偏り、個体数が少ない。(現況:R-)

形態

高さ5~10cm、葉は針形で長さ10~20mm、太さ1.5~2mmで全縁、スギの幼苗に似る。植物体は2~4回枝分かれし、孢子嚢は枝の先端部につく。

国内分布

北海道、本州、四国、九州(屋久島以北)。

県内分布

南加賀区。

生態など

常緑性で樹上や岩上の地衣類やせん苔類の着生が見られる所に、叢生状に傾いて着生する。やや好陰湿潤地性で繁殖は孢子による。孢子は風で散布する。

生育環境

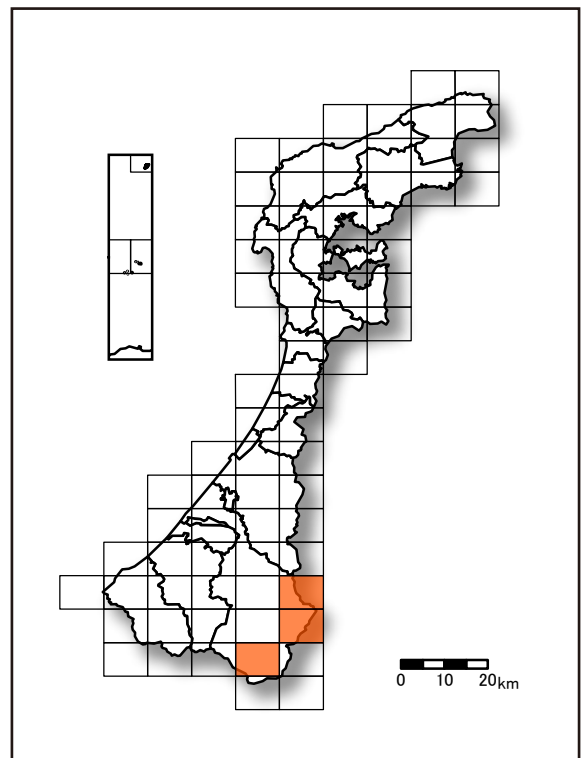
ブナクラス域の高木林内樹幹上、主としてブナやミズナラ、トチノキ、サワグルミなどの古木に着生するが稀に陰湿な谷間の岩上にも着生する。

危険要因

森林伐採、道路工事。



林 二良・2009年10月30日・白山麓



県内の分布